

2019/3/1配布

2019年6月8日(土)・9日(日) 開催

2019年 青年・女性建築士の集い 中四国ブロック島根大会

実施要綱



主催：中四国ブロック青年建築士協議会
中四国ブロック女性建築士協議会
主管：一般社団法人 島根県建築士会

目次

1. 大会趣旨	…1
2. 大会スケジュール	…2
3. 会場案内	…3
4. 大会内容	
地域実践活動報告	…6
基調講演	…10
エクスカージョン	…11
5. 大会報告	…15
6. 大会までのスケジュール・登録料・交通・宿泊等	…16



1. 大会趣旨

大会テーマ

『 原点 回 帰 』

サブテーマ

「元年、新しい時代を地域から創ろう」

大会趣旨

みなさんはなぜ「建築士会」に入ったのでしょうか？

「建築士会のメリットはなんですか」「そもそも建築士会は何をしているのですか」と聞かれて答えることができるのでしょうか。

建築士会を通じて情報が共有できる、同じ方向を向ける仲間ができる、などあると思いますが、やはり一番のメリットは「建築士会」で集まり、地域実践・地域貢献活動ができることではないでしょうか。

人口及び消費の減少、並びに経済縮小の一途を辿るこの時代に、私達「建築士会」は何をすべきなのか？

様々な職種の人が集まる「建築士会」は、どの分野にも精通することが可能な団体だと私達は考えています。私達は建物だけではなく、例えば、まちづくり、福祉、文化保全、防災等のサービス業務に力を注ぐことも、これからの時代のニーズに沿っているのではないかと思います。時代のニーズを把握する為には、地域に根ざした団体にならなければと考え、再度地域実践・貢献活動を見直し、地域の人々が何を求めているのかを模索する為、島根大会では地域実践活動報告に重点をおくことにしました。

なぜ、地域実践・地域貢献活動を重要視するのか？

私達はすべての仕事や活動は最終的に「人」だと考えました。「人は人でしか磨かれない」という言葉があります。私達建築士会の仲間だけではなく、他団体や地域の人達と多くのコミュニケーションをとり、切磋琢磨し、お互いを高め合うことが大切と考えます。

今年、平成という時代から新しい時代の始まりでもあり、島根大会を通じて参加者の方が再度「原点」を考え、多くの「気づき」を各県に持ち帰って、建築士会会員としての新たな出発点にしていただけたら幸いです。

2. 大会スケジュール

第1日 2019年6月8日(土)

■本大会

大会会場：くにびきメッセ 3階国際会議場

- 12:00～12:35 受付 及び 地域実践パネル展示
- 12:40～ 開会式
- 13:10～15:40 地域実践活動報告会
- 15:40～ 基調講演
- 16:40～ 公開講評
- 17:10～17:30 閉会式(結果発表、表彰式)

■懇親会

懇親会会場：松江エクセルホテル東急

- 18:30 受付開始
- 19:00 開会
乾杯・歓談・余興・各県PR
- 21:00 閉会

第2日 2019年6月9日(日)

■エクスカージョン (申込制 参加希望者のみ)

- 9:00 受付
- 9:30～12:00 頃解散予定
- ※詳細については11ページからのエクスカージョンを参照

■中四国ブロック協議会 理事会

会場：くにびきメッセ 6階601会議室、他

- 9:00～10:00 中四国ブロック青年建築士協議会 中四国ブロック女性建築士協議会
- 10:15～12:00 中四国ブロック青年・女性建築士協議会合同理事会

3. 会場案内

■本大会/中四国ブロック協議会理事会

■会場名 くにびきメッセ(島根県産業交流会館)

本大会：3階 国際会議場

青年協議会/合同理事会：6階 601会議室

女性協議会：4階 401会議室

■所在地 〒690-0826

島根県松江市学園南 1-2-1

TEL：0852-24-1111

- ・JR松江駅より 徒歩7分
- ・山陰自動車道松江中央ICから車で約5分
駐車場 441台(有料/3時間まで無料)
大型車で来られる場合はご相談ください。
大会直前に駐車場案内を配布します。



※国際会議場での飲食は禁止ですがロビー・会議室での飲物は可能です。

※喫煙は屋外の所定の場所をお願いします(館内禁煙)。

青年協議会・合同理事会 会場



■大懇親会

- 会場名 松江エクセルホテル東急 2階オーク
- 所在地 〒690-0003 島根県松江市朝日町 590
TEL : 0852-27-0109

各県自慢の銘酒・地酒のみくらべを行います。自慢の銘酒を1本以上持ち寄りをお願いします！



写真はイメージです

※今回の懇親会は立食形式にて行います。多くの会員と交流を図って下さい。

※喫煙は所定の場所をお願いします。

※駐車場有(有料) 満車の場合は近隣の有料駐車場をご利用ください。



4. 大会内容

■ 地域実践活動報告会

- 開催日時：6月8日（土）13：10～
- 会場：くにびきメッセ3階 国際会議場
- 概要：（参加者） 定員：約350名 発表：中四国9県の代表者グループ
（テーマ） フリーテーマ

■ 報告会の流れ

各県の地域実践活動についての発表と、会場内に設置する発表内容の展示ポスター（A1サイズ）を評価し、選考します。

発表の後、質疑応答及び公開審査員講評を行います。

- 13：10～ 開会あいさつ、審査員紹介（5分）
- 13：15～ 進行説明（5分）
- 13：20～ 発表（90分＋予備10分）
各県とも、交代・準備時間・発表前PR（3分）＋地域実践活動発表（7分）
- 15：00～ 質疑応答（20分）
審査員、大会参加者より質疑を受付
- 15：20～ 採点・投票・休憩（20分）
審査員による採点及び大会参加者による投票、投票後は休憩とする

- 15：40～ 基調講演
得点集計

- 16：40～ 審査員による公開講評（30分）
審査員10名が審査内容を発表し、各3分で講評する
- 17：10～ 閉会式
閉会式にて結果発表、表彰式を行う

■ 選考基準及び全国大会出場者選出方法

1) 選考基準

地域実践活動報告会は、フリーテーマのもと、各県の建築士が地域貢献・士会活動としてどのような取り組みをしているのかを発表して頂きます。

次の6項目に留意して審査を行い、全国大会において中四国ブロックの代表にふさわしい活動を選考します。

- ①継続性・今後の展開 ②着想・コンセプト ③地域貢献
④地域・建築士の連携 ⑤発表プレゼンテーション ⑥展示プレゼンテーション

2) 審査基準

- ・ 展示ポスターと活動発表内容をそれぞれ評価し選考します。
- ・ 審査は大会参加者全員による参加者得点と、各県審査員9名+特別審査員1名=計10名による審査員得点との合計得点によって行います。
- ・ 合計得点は、参加者得点の90点(満点) + 審査員得点の300点(満点) で、総合計390点(満点)となります。

大会参加者の方

- ・ 選考基準に対し、大会パンフレット記載の選考採点表を利用して各県の採点を行い上位2県を選びます。
- ・ 大会参加者投票として、受付時に大会参加者1人につき投票用シールを名札裏へ入れて2枚配布します。9県の発表・質疑応答終了後、各県に配布する投票ボードに選考した上位2県を投票して下さい。

※例年、参加者投票が自県に集中する傾向にあります。公平かつ厳正な選考を行うためにも、各県の発表内容・展示物等を評価した上で投票するよう心掛けて下さい。

- ・ 参加者得点は、まず各県ごとで投票数の順位付けを行い、上位から得点10点, 9点, 8点・・・2点を配点します(11-順位を得点とする)。同順位の場合は同じ配点とします。その得点を9県分合計したものが参加者得点となります。

審査員の方

- ・ 審査員は選考基準に対し、各項目5点(満点)×6項目=計30点(満点)で審査を行い審査員得点とします。

減点について

- ・ 提出資料が期限内に提出されない場合は、一項目につき20点ずつ減点します。
※提出資料とは、発表要旨・発表データ・展示ポスターのデータ等です。
- ・ 発表時間を超過した場合は、10秒超過ごとに10点ずつ減点します。

3) 発表

- ・ 発表時間は各県、交代・準備時間・発表前PR(3分)+地域実践活動発表(7分)とします。

- ・ 発表前 PR とは、発表前の準備時間を使い、各県の代表者（発表者以外の 3 名以内）による発表内容の前説明、地域実践活動のエピソード（苦労話、裏話）、発表者の人となりの説明等とします。ただし、活動発表時間に充てることは認めません。入場～退場で 3 分とします。

※発表方法は自由としますが、トーク、パワーポイント、動画・写真紹介程度とします。

- ・ 発表前 PR の経過時間は、終了 30 秒前にベルを 1 回「チン」と鳴らし、PR 時間 3 分終了直前に司会者より「それでは発表者の方よろしくお願ひします」とアナウンスをします。
- ・ 活動発表中の経過時間は、終了 30 秒前にベルを 1 回「チン」と鳴らし、7 分経った時点でベルを 2 回「チン・チン」と鳴らしてお伝えします。発表時間 7 分を超えた場合は、10 秒超過ごとに 10 点ずつ減点します。1 分超過で発表終了のアナウンスをします。

4) 全国大会発表者の選出方法

- ・ 審査基準にて集計を行い、最多得点を獲得した県を最優秀（全国大会での発表権利県）として、2019 年建築士会全国大会への中四国ブロック代表に選出します。
 - ※ 同点の場合は、大会参加者得点の高い県を選出します。
 - ※ 上記の順位も同一の場合は、審査員による決選投票を行います。
 - ※ 表彰・最終順位発表は、閉会式にて行います。

■ 発表者のエントリー等

1) 発表者の登録

- ・ 発表者、発表前 PR 者（各県 3 名以内）、発表補助者（機器操作担当者）の発表グループを編成し、登録用紙に必要事項を明記の上、期日までに提出してください。

2) 審査員の登録

- ・ 各県より審査員を 1 名選出し、登録用紙に必要事項を明記の上、期日までに提出してください。
- ・ 審査員になられた方は、事前配布資料に基づき、各県の発表内容について質問 1 問以上を用意願ひします。
- ・ 審査員は、審査員質疑、公開講評に参加して頂きます。

3) 発表要旨

- ・ 地域実践発表者は、A 4 判タテ 2 枚で発表要旨を作成して、期日までに提出して下さい。第 1 面の一部の書式は設定致しますが、それ以降のレイアウトは自由とします。
- ・ 提出ファイル形式は、Microsoft Word2016 で動作するものを基本とします。他のソフトで作成希望の方は、中四国ブロック島根大会実行委員会の連絡先（後述）ま

でご相談ください。提出データは基データおよびPDFの両方を提出してください。

4) 発表用データ

- ・発表用データはPowerpoint2016で動作するものを基本とします。音声・動画を使用する場合は、動作環境および使用機器等を確認するため要相談とします。
- ・発表に使用するパソコン、ソフト（Powerpoint2016）、プロジェクターは開催県（島根県）で準備します。
- ・当日のパソコン操作は、各県発表グループの発表補助者が行ってください。
- ・その他の機器、プログラム等の使用を希望される時は事前に協議をお願いします。

5) 展示ポスター

- ・A1判ポスター（縦使い1枚）を会場内に展示します。
- ・展示ポスターのデータ（PDF）をメールにて送付してください。開催県（島根県）にて印刷します。なお、用紙・印刷精度については指定できませんのでご了承ください。
 - ※印刷機器によっては、印刷物の色合いが多少変わる場合があります。
 - ※データ量が大きい場合は大容量ファイル送信サービスをご利用ください。
- ・提出ファイルは作成ソフトの基データおよびPDFの両方を提出してください。
 - ※資料等の提出フォーマット等は、各種登録様式は、今後随時ご案内します。

■地域実践活動報告 案内等の送信・資料の提出締切

1) 発表者・発表補助者・審査員名簿

- 登録案内 送信 : 2019年3月1日（金）
- 登録提出締切 : 2019年3月29日（金）17:00迄※

2) 発表要旨原稿・発表用資料

- 地域実践発表資料フォーマット送信 : 2019年3月1日（金）
- 発表要旨データ 提出締切（Word） : 2019年4月17日（水）17:00迄※
- 発表資料データ 提出締切（Power Point） : 2019年5月13日（月）17:00迄※
- 展示ポスターデータ 提出締切（PDF） : 2019年5月13日（月）17:00迄※
- 発表前PRデータ（ある場合）提出締切（Power Point等） : 2019年5月13日（月）17:00迄

■提出先：中四国ブロック島根大会実行委員会

Email: shimanetaikai2019@gmail.com

- ・締切の日程は変更することがございます。その際は随時メール等でご案内いたします。
- ・※のついた項目は提出締切までに提出されなかった場合、減点対象となります。

■ 基調講演

- 開催日時： 6月8日（土）15：40～
- 会場： くにびきメッセ3階国際会議場
- 講演者： 山本大輔氏
- 演題： 地域資源としての「島根県庁周辺モダニズム建築群」
～建築士のまなざしで地域と関わる楽しさ～

（講演概要）

国宝松江城の三之丸跡地には、島根県庁舎（設計・安田臣）や旧島根県立博物館（設計・菊竹清訓）など、優れたモダニズム建築が数多く存在しています。

1950年代後半から10年以上の長い年月を掛け、松江城周辺の歴史的環境に馴染ませるように整備された県庁周辺のモダニズム建築群は地方都市における再開発の優れた指針として高く評価され、1970年に日本建築学会賞（業績）を受賞するなど国内でも他に類を見ない貴重な都市空間となっています。

県の建築技師である私は、これらの耐震改修工事を担当したことがきっかけでその建築的価値に深く魅了され、見学ツアーガイドや小冊子の制作、庁舎のライトアップイベントの企画・実施など、県庁周辺モダニズム建築群をユニークな地域資源として保全・活用する取り組みを行ってきました。

この講演では、これまでの取り組みや今後の展望等をご紹介しながら、建築士としての自らの得意分野を活かして地域に関わることの楽しさを少しでもお伝えできればと思います。

（講演者プロフィール）

山本 大輔

1976年島根県生まれ

1999年名古屋大学工学部建築学科卒業

2000年～島根県職員

所属団体：（一社）島根県建築士会、ドコモモジャパン、日本エコモス

受賞：2014年 JIA25年賞（島根県立図書館耐震改修）

2015年 JIA 中国建築大賞 特別賞（島根県立図書館駐輪場）



■エクスカージョン

■コースA 「城・茶・迎」 松江の時代を巡る散策コース

松江城は築城後 400 年余り、修繕と保存運動に救われ山陰で唯一現存する天守です。街の文化を、歴史を見守る存在であり、2015 年 7 月には国宝に指定されました。四重五階天守、地下一階、2 階分を貫く通し柱が特徴で、中では仕掛けや資料を見ることが出来ます。又、松平 7 代目城主である松平治郷は大名茶人であり「不昧公」としてその名は今も親しまれています。その「不昧公」ゆかりの茶室、明々庵も訪れ、お茶をたしなみます。松江城を望む高台にあり、茅葺の入母屋に掛けられている額「明々庵」は不昧公の直筆です。

そして興雲閣は、松江市が工芸品陳列所として建てた建物です。当初は明治天皇の行在所^{あんざいしよ}に使用する目的でつくられ、装飾・彫刻を多く用いた華麗な仕上げとなっています。結果的に実現しませんでした。皇太子嘉仁親王(後の大正天皇)がご宿泊され、迎賓館としての役割を果たしました。後に「興雲閣」と名前を替え、島根県指定有形文化財・歴史的風致形成建造物にも指定され、近年保存修理工事も行われました。擬洋風建築の最晩年建築として価値のある建物です。

各時代よりこの地で歴史を刻み、建築様式も異なる建築物をメインに散策を行います。

案内人：米子工業高等専門学校 建築学科 准教授 金澤 雄記氏(建築史)

コース内施設：興雲閣・松江城・明々庵

時間：9:30～12:30(受付 9:00～)

定員：50 名

参加料：¥1,700-(入館料・お茶席代共)

集合場所：松江市交通局 大手前駐車場 堀尾吉晴公銅像前

松江市殿町 508

(松江駅より 2.3km 徒歩約 25 分 車約 5 分)

解散場所：明々庵(集合場所まで約 0.8km 徒歩 10 分 車約 2 分)

※当日は松江城は耐震改修中となりますが見学できる状態で工事は進めるようです。

※明々庵(茶室)に参りますので、靴下の着用又は持参をお願い致します。



■コース B 塩見縄手と城下町を巡るコース

塩見縄手は昔からの城下町の佇まい、風情を色濃く残しています。武家屋敷風の家も堀に面して軒を連ね、堀沿いの松並木と松江城を取り囲む堀川を望む景色はまさに江戸時代へタイムスリップしたかのような気分を味わえます。松江市伝統美観地区への指定、又「日本の道百選」にも選ばれ、塩見縄手は今尚この町で輝きを放っています。菊竹清訓氏設計の田部美術館もこの塩見縄手にあります。

田部美術館は田部家伝来の美術品と共に当時の新しい技術と資材を使いながらも周囲の景観と調和したこの建物もまさに美術品であり一見の価値があります。

武家屋敷は江戸時代初期から松江藩士が入替わり住んだところです。家具や生活用品が展示されており、当時の武士の暮らしぶりが目に浮かんで来るようです。保存状態は素晴らしく、昨年には改修工事・再建・復元も行われ松江市指定文化財にもなっています。

松江歴史館は武家屋敷をイメージした和風の外観で、町の歴史や変遷について資料、展示、映像等で紹介しています。

入口より新設長屋門、松江市指定文化財である復元長屋「松江藩家老朝日家長屋」、天守を借景にした枯山水による日本庭園、本館では千利休ともゆかりが有るとされる伝利休茶室、そして展示を見学します。

景観や品々から城下町の暮らしを「見る」・「感じる」コースです。

案内人：一般社団法人 島根県建築士会会長 足立 正智氏(武家屋敷保存修理工事 設計)

コース内施設：塩見縄手・田部美術館・武家屋敷・松江歴史館

時間：9:30～12:00(受付 9:00～)

定員：50名

参加料：¥1,500-(入館料共)

集合場所：松江市交通局 大手前駐車場奥 堀尾吉晴公銅像前

松江市殿町 508

(松江駅より 2.3km 徒歩約 25分 車約 5分)

解散場所：松江歴史館(集合場所まで約 0.4km 徒歩 4分 車約 1分)



■コースC 「大建築の聖地」モダニズム建築物を巡るコース

島根県庁舎を含めその周辺には「大建築」と呼ばれる建築物が集中しております。

建築物の設計者として安田 臣(島根県庁舎・島根県民会館)、菊竹 清訓(第三分庁舎(旧島根県立博物館)・島根県立県立図書館・島根県立武道館)とそれぞれ山陰に多くの作品があり、ゆかりある建築家の共演の舞台になっています。

高度経済成長期に建設されたこれらの建物は、打放しコンクリート仕上の多用と柱・梁などの強調された構造体や鉄骨を見せる中に「伝統や文化」、「先端科学技術」をイメージしたデザインが取り入れられており「強さ」と「美しさ」を感じます。見るほどに当時建設に携わられた方々の熱い思いやこだわりが伝わってきます。1970年には「島根県庁舎及びその周辺整備計画」で日本建築学会賞を受賞しています。

また、県庁庭園は昭和期の造園家重森三玲氏の長男重森完途により設計され、議会議堂東の広い前庭と共に、「八雲立つ出雲」をイメージした本館中庭、島根県の海を抽象化した枯山水洋式の県民室中庭があります。

建設から半世紀を超えて、それぞれ耐震改修工事が行われた今、「文化財」級の建物を巡ります。

案内人：島根県土木部建築住宅課 山本 大輔氏(前記)

コース内施設：島根県庁舎・島根県立図書館・島根県立武道館
・第3分庁舎(旧島根県立博物館)・島根県民会館

時間：9:30～12:00(受付9:00～)

定員：50名

参加料：¥500-

集合場所：島根県庁本庁舎正面玄関

松江市殿町1番地

(松江駅より2.0km 徒歩約25分 車約4分)

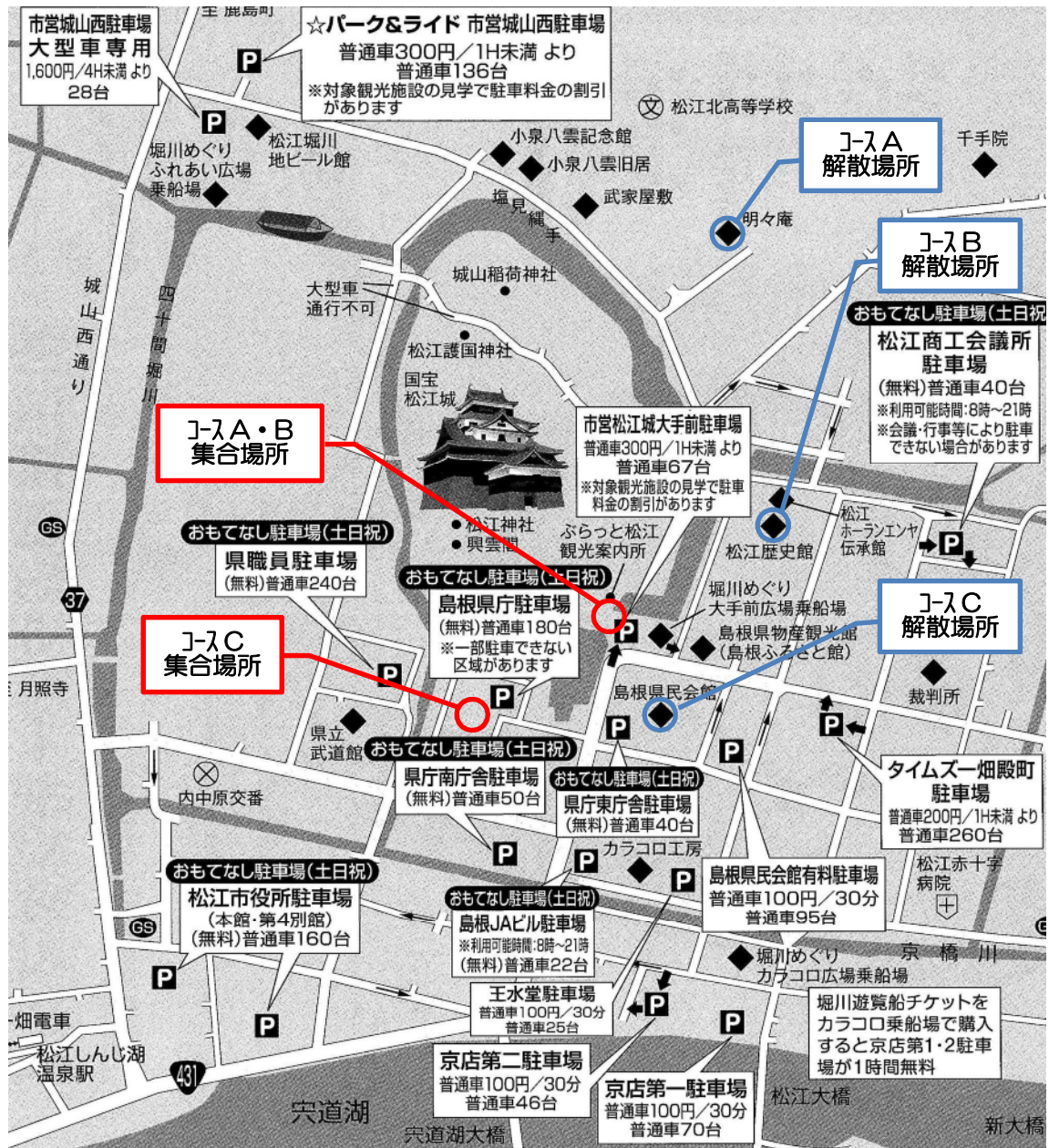
解散場所：島根県民会館(集合場所まで約0.2km 徒歩2分)



※各コース共、定員を設定しておりますので、先着順でのご案内とさせていただきます。
 ご希望のコースが叶わない場合、他のコースをご案内させて頂く場合がございます。
 その際は、各県登録申込代表者様に実行委員会からご連絡させていただきます。

※各コース共に外部での移動、散策を伴いますので歩きやすい履物でのご参加をお願い致します。
 又、雨天の場合も御座いますので各自雨具のご用意をお願い致します。

各コース集合・解散場所/駐車場案内 ※直前に詳しい資料を送付します



5. 大会報告

1. 審査員の講評

- (1) 大会終了後に作成する『中四国ブロック大会報告書』に、各審査員による各県発表に対する審査講評、及び報告会全体に対する講評を収録します。
- (2) 書式は大会終了後に中四国理事会MLにて送付します。
- (3) 2019年6月30日までにメールで提出してください。

2. 青年委員長・女性委員長の大会講評

- (1) 大会終了後に作成する『中四国ブロック大会報告書』に、各県の青年委員長、女性委員長による、大会全体に対する講評を収録します。
- (2) 書式は大会終了後に中四国理事会MLにて送付します。
- (3) 2019年6月30日までにメールで提出してください。

3. 報告書送付先

中四国ブロック島根大会実行委員会 E-mail : shimanetaikai2019@gmail.com

4. 大会のDVDの配布

2019年度第2回合同理事会（10月頃）、各県に2セット配布します。

6. 大会までのスケジュール・登録料・交通・宿泊等

1. 大会までのスケジュール

日程	スケジュール
3/1 (金)	大会・懇親会・エクスカージョン 登録案内 発表者・発表前PR者・補助者・審査員 登録案内 地域実践活動の発表書類フォーマット 配付
3/29 (金) 17:00迄	大会・懇親会・エクスカージョン 登録締切 発表者・発表前PR者・補助者・審査員 登録締切
4/17 (水)	大会・懇親会・エクスカージョン 登録料振込案内
4/17 (水) 17:00迄	地域実践活動の発表要旨データ 提出締切 ※
5/13 (月) 17:00迄	大会・懇親会・エクスカージョン 登録料振込締切 地域実践活動の発表資料データ/展示ポスターデータ 提出締切 ※ 発表前PRデータ (ある場合) 提出締切
5/13 (月)	審査員の方へ大会資料 (各県地域実践活動発表要旨データ) 配布

大会資料冊子は当日会場にて配布します。

上記日程について変更になる場合は、随時メールにて案内させていただきます。

※印の発表書類が期日内に提出されなかった場合は、審査配点の減点対象となります。

2. 登録料

- ①大会登録料 ￥6,000
- ②懇親会参加費 ￥6,000
- ③エクスカージョン 各コースによる

全て事前振込とし、振込後の返金はできませんのでご了承ください。

3. 支払方法について

2019年5月13日(月)までに各県で取りまとめの上、下記口座に振り込みをお願いします。

振込手数料は各県にて負担をお願いいたします。

振込先：青年・女性建築士の集い中四国ブロック島根大会 会計責任者 安達善子
山陰合同銀行 本店営業部 店番001 普通預金 口座番号3768266

4. 交通、宿泊について

交通案内・宿泊先リストを配布いたしますので、各県にて対応をお願い致します。

※主催者側で手配等を行いませんので、各県にて対応をお願い致します。

注) コンベンション開催支援補助金申請のため、大会登録用紙に宿泊予定ホテルの記載をお願いします。

5. 問い合わせ先

中四国ブロック島根大会実行委員会 E-mail: shimanetaikai2019@gmail.com